

2015年2月6日

今年で21年目！「アフラックのバレンタイン献血」 ～ アフラックとアソシエイツ（当社販売代理店）が全国各地で展開 ～

アフラック（アメリカンファミリー生命保険会社、日本における代表者・社長：山内 裕司）は、毎年2月を「バレンタイン献血月間」として、当社販売代理店組織である「アフラック全国アソシエイツ会」（以下、アソシエイツ会）と共同で、全国各地で献血ボランティア活動を行っています。本活動は1995年にスタートして以来、毎年継続的に実施しており、今年で21年目を迎えます。

【アフラックのバレンタイン献血 開催概要】

（1）東京

2月13日（金） 新宿三井ビル (9:30～16:00)
2月19日（木）・20日（金） 調布アフラックスクエア (9:30～16:00)

（2）大阪

2月18日（水） 淀屋橋センタービル (10:00～16:30) ※11:30-12:30は受付不可

（3）その他

全国各地のアソシエイツ会にて適宜開催

「アフラックのバレンタイン献血」は、1995年の阪神淡路大震災への支援活動としてスタートしたボランティア活動で、今年で21年目を迎えます。

冬期、特に2月は、風邪やインフルエンザの流行で全国的に献血者が激減するため年間で最も血液が不足する時期であり、こうしたことから、アフラックでは毎年2月に「特定の人だけではなく、多くの人に『愛』を贈ろう！」との思いを込めて、この活動に継続的に取り組んでいます。

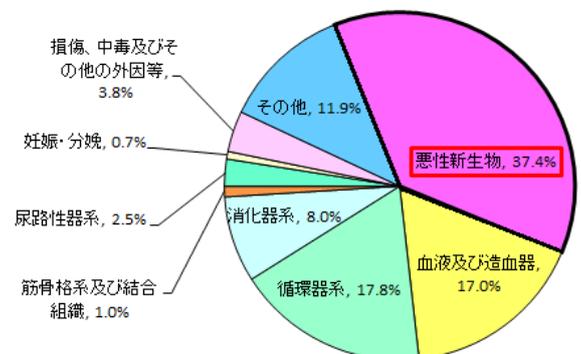


▲ 献血ボランティアの様子（2014年）

この活動は、アフラックの毎年恒例のボランティア活動として社員やアソシエイツにまで広く定着しており、昨年は約1,300人、累計では約2万人のアフラック関係者が参加しています。

なお、日本赤十字社に集められた輸血用血液の約4割は「がん（悪性新生物）」の治療に使われており（円グラフ参照）、「がん・医療」をメインテーマとした当社の社会貢献活動とリンクしたボランティア活動となっています。

＜疾病別の輸血状況＞



出典：東京都福祉保健局「平成24年輸血状況調査集計結果」から抜粋

当社は、多くの方々の「生きる」を創る保険会社として、社会における課題の解決と持続的な成長をめざし、社会と共有できる価値の創造（CSV※経営）に努めていきます。

※CSV:Creating Shared Value